

2022年2月28日

関係各位

社会福祉法人中心会
理事長 浦野正男
児童養護施設 中心子どもの家
所長 丹 清

新型コロナウイルス感染者(職員及び児童)の発生について

中心子どもの家で次のとおり、新型コロナウイルスの感染者が発生しました。

1. 職員の感染

《結果》

職員1名が2月27日(日)の朝、喉の痛みを感じました。そのため自身で抗原検査を実施し、同日午前中に「陽性」と判明しました。

《経過》

- ・2月22日(火)、当該職員は午後から出勤し、夜間からは宿直勤務をしていました。この時、当該職員は幼児2名の添い寝(幼児2名に必要な支援)をしていました。
- ・2月23日(水)の朝、当該職員の同居家族から「今朝から発熱している」旨の連絡が入りました。
そのため、本法人の感染防止の基準に基づき、当該職員は速やかに退勤しました。(出勤停止)
また、当該職員の同居家族はPCR検査の検体を採取しました。
- ・2月24日(木)の夜、当該職員の同居家族のPCR検査の結果が、「陽性」と判明しました。
- ・当該職員は上記の通り2月23日(水)の朝から出勤を停止していましたが、2月27日(日)の朝に喉の痛みを感じ、自身で抗原検査を実施しました。

2. 児童の感染

《結果》

幼児1名が2月27日(日)の朝、PCR検査の結果が「陽性」と判明しました。

《経過》

- ・2月25日(金)の朝、上記「1. 職員の感染」に記した幼児2名にPCR検査をおこなうための検体(唾液)を採取しました。
幼児2名の体調に異変はありませんでしたが、当該職員と長時間同じ部屋で寝ていたためです。

- ・ 2月27日（日）の午前2時半頃、Eメールで検査機関からPCR検査の結果が届きました。そのEメールを、中心子どもの家では朝7時前に覚知しました。2名の幼児のうち1名が「陽性」、1名が「陰性」でした。

3. 上記感染に対する対応

- (1) 当該職員については、保健所の指導に基づき自宅療養を継続します。
- (2) 当該児童については、「陽性」を覚知して速やかにユニットを離れた部屋での隔離を開始しました。
- (3) 当該児童と同じ生活区域及び隣接する生活区域に属する児童全員（一時保護児童含む）、当該生活区域及び隣接する生活区域を担当する職員全員については、2月27日（日）の午前中に検体（唾液）を採取しました。昼過ぎ、検体をPCR検査機関に発送しました。（合計31名分）
現時点で、当該児童と当該職員以外には感染症を疑う症状はありませんが、引き続き健康観察と感染拡大予防を徹底します。

皆様には大きなご心配をお掛けし、申し訳ございません。

引き続き感染防止に最大限の努力を払いますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。